



NIPPON BEARING

9月29日付 日本経済新聞広告 解答と解説

【問題】「はやぶさ2」が到達した小惑星「リュウグウ」の直径に最も近いのは？

- ① 旅客機の安定高度（高度約1万m）
- ② 陣馬山（標高855m）
- ③ 野球場の両翼（約100m）

【答え】 ② 陣馬山（標高855m）

【解説】

2020年12月6日、小惑星探査機「はやぶさ2」無事帰還・カプセル回収のニュースは、私たちに一条の光を届けてくれました。

「はやぶさ2」が到達した小惑星「リュウグウ」の大きさは、直径約900m。東京都にある陣馬山の標高855mと、同じくらいの直径です。当初、「リュウグウ」は球体と推定されていましたが、実際には、そろばんの珠のような形でした。

「リュウグウ」には、太陽系が生まれた頃（今から約46億年前）の水や有機物が、今でも残されていると考えられています。地球の水の起源、生命を構成する有機物がどこでできたのか、等々、太陽系の誕生と生命誕生の秘密に迫ることが、「はやぶさ2」のミッションです。今後「リュウグウ」で回収した試料を分析することで、多くのことが解明されることでしょう。

「リュウグウ」で回収した試料の入ったカプセルを地球に届けた後、「はやぶさ2」は更なる拡張ミッションを行うため、11年もの長い旅に再出発しました。次の目標天体は、「1998KY26」という微小小惑星。この小惑星は、「リュウグウ」よりも、はるかに小さい直径30m程度の大きさです。

到着予定の2031年7月までの間、「はやぶさ2」は二度、2027年12月と2028年6月に、地球に近づきます。その際、再び地球から「はやぶさ2」を見ることができるかも知れません。楽しみですね。

出典：(c) JAXA

【企画・協力：榊学研メソッド】